Nippon Plant Seeder Co.,Ltd.

取 扱 説 明 書

テープシーダー

シーダーテープ播種機

TTA－8ST

このたびは日本プラントシーダーの製品をお買い上げいただきまして
まことにありがとうございます。

⚠注意	正しく安全にご使用いただくためにこの取扱説明書をよくお読みいただいたうえでご使用ください。また、いつでもご覧いただけますように大切に保管してくださいますようお願い申し上げます。

目 次

■ はじめに … 1
■ 安全に関するご注意 … 2
■ 部品一覧 … 3
■ 取付方法 … 4
■ ご使用方法 … 10
■ 保守点検 … 13
■ 故障かな？と思ったときは … 13
■ アフターサービス … 14
■ 仕様 … 14

日本プラントシーダー株式会社

はじめに

使用目的について

本製品はシーダーテープの播種を目的とした播種機です。
使用目的以外のご使用や改造は決して行わないでください。
使用目的以外のご使用や改造を行った場合は補償の対象になりませんので
ご注意ください。

ご使用前に

■ この取扱説明書はテープシーダー『TTA－8ST』の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。
■ お読みになった後も、いつでもご覧いただけますように大切に保管してください。
■ 本製品を貸したり譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添えてお渡しください。
■ この取扱説明書を紛失または汚損された場合は、お買い求めになった販売店にご注文ください。
■ この取扱説明書の内容は予告なく変更させていただく場合がありますので予めご了承ください。
■ ご不明な点やお気づきの点がございましたら、お買い求めになった販売店または最寄りの営業所にご相談ください。

■ ⚠ 印の表示のある項目は、安全のために必ずお守りください。

⚠危険	記載されている内容を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことを示します。
⚠警告	記載されている内容を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。
⚠注意	記載されている内容を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や製品が破損する恐れがあることを示します。

■ この取扱説明書には正しく安全にご使用いただくための注意事項が記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

安全に関するご注意

安全のために必ずお守りください。

記載してある注意事項を守らないと、傷害や事故・機械の損傷が生じる恐れがあります。

■ 一般的なご注意

⚠注意	■ シーダーテープの播種以外には使用しないでください。 故障の原因になります。
	■ 改造は行わないでください。 故障や破損してケガをする原因になります。

■ 取付時のご注意

⚠警告	■ 本機の着脱は、トラクターや管理機のエンジンを停止させた状態で行なってください。トラクターや管理機、ロータリーの不意な動きによってケガをする恐れがあります。
⚠注意	■ 各部品の取付は手袋を着用して行ってください。 ケガをする原因になります。
	■ 各ボルトは確実に締め付けてください。 故障や破損してケガをする原因になります。
	■ 取付方法の手順に従い、各部品を正しい位置に取付けてください。 播種精度の低下や故障の原因になります。

■ 使用前のご注意

⚠注意	■ 保守点検の手順に従い、必ず播種前の点検を行ってください。 故障や破損してケガをしたり、播種精度の低下の原因になります。

■ 使用時のご注意

⚠注意	■ シーダーテープの播種以外には使用しないでください。 故障の原因になります。
	■ 使用方法の手順に従い、正しく使用してください。 播種精度の低下や故障の原因になります。

■ 保守点検時のご注意

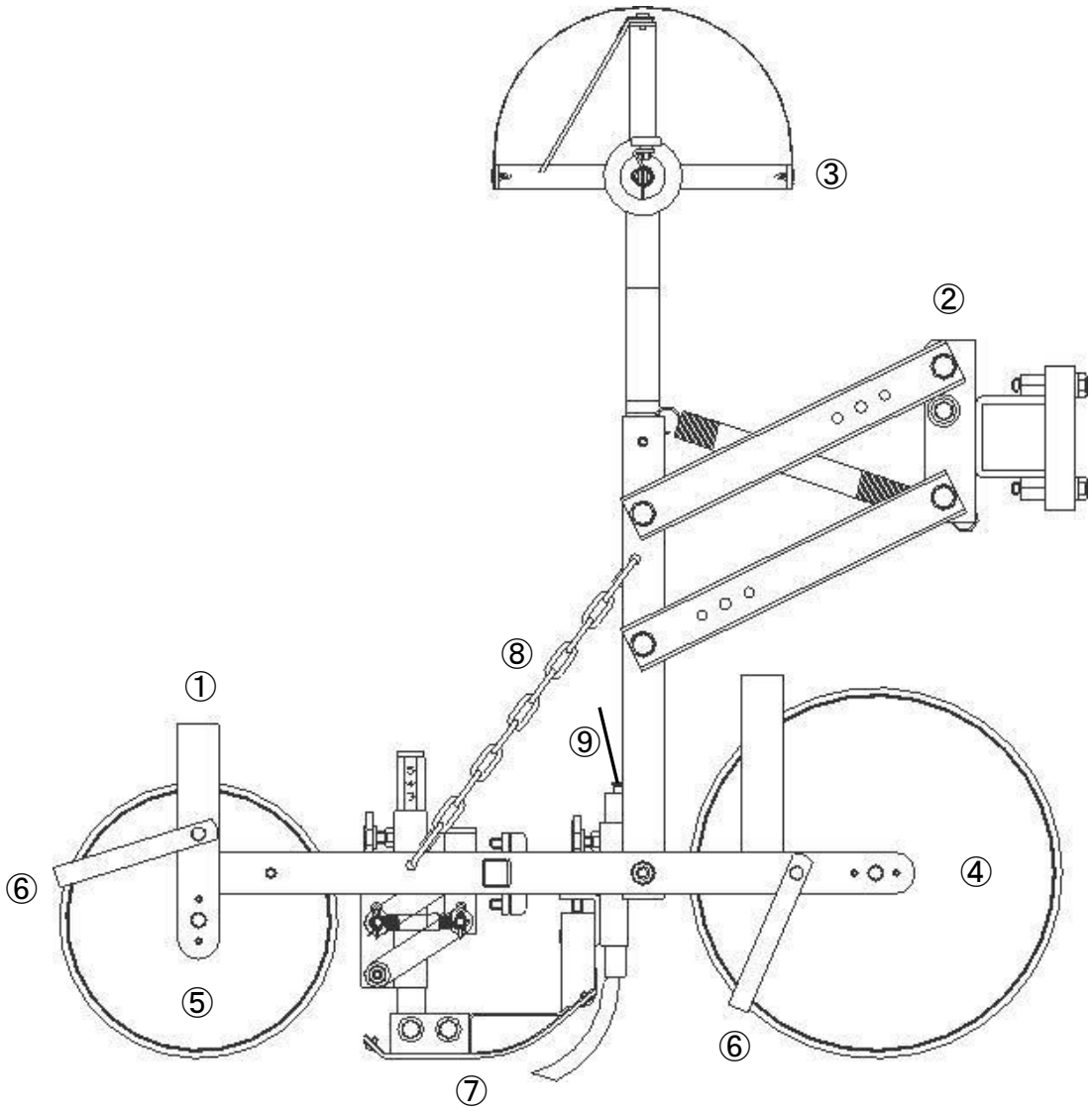
⚠警告	■ 本機の着脱は、トラクターや管理機のエンジンを停止させた状態で行なってください。トラクターや管理機、ロータリーの不意な動きによってケガをする恐れがあります。
⚠注意	■ 保守点検は手袋を着用して行ってください。 ケガをする原因になります。
	■ 各ボルトに緩みがないか確認してください。 故障や破損してケガをする原因になります。
	■ 各部品が正しい位置に取付けられているか確認してください。 播種精度の低下や故障の原因になります。

部品一覧

取付を行う前に、以下の部品が揃っているかお確かめください。

万が一、欠品等がございましたら、お買い求めになった販売店または最寄りの営業所にご連絡ください。

部品番号	コードNo.	名称	数量	備考
①		メインフレーム	1	
②		パンタフレームASSY	1	
③		リールスタンドASSY	1	
④		車輪φ 272×100	1	
⑤		車輪φ 200×100（穴付）	1	
⑥		スクレーパー	2	
⑦		覆土板＆溝切ASSY	1	
⑧		チェーン	2	
⑨		通し棒	1	
⑩		取扱説明書	1	

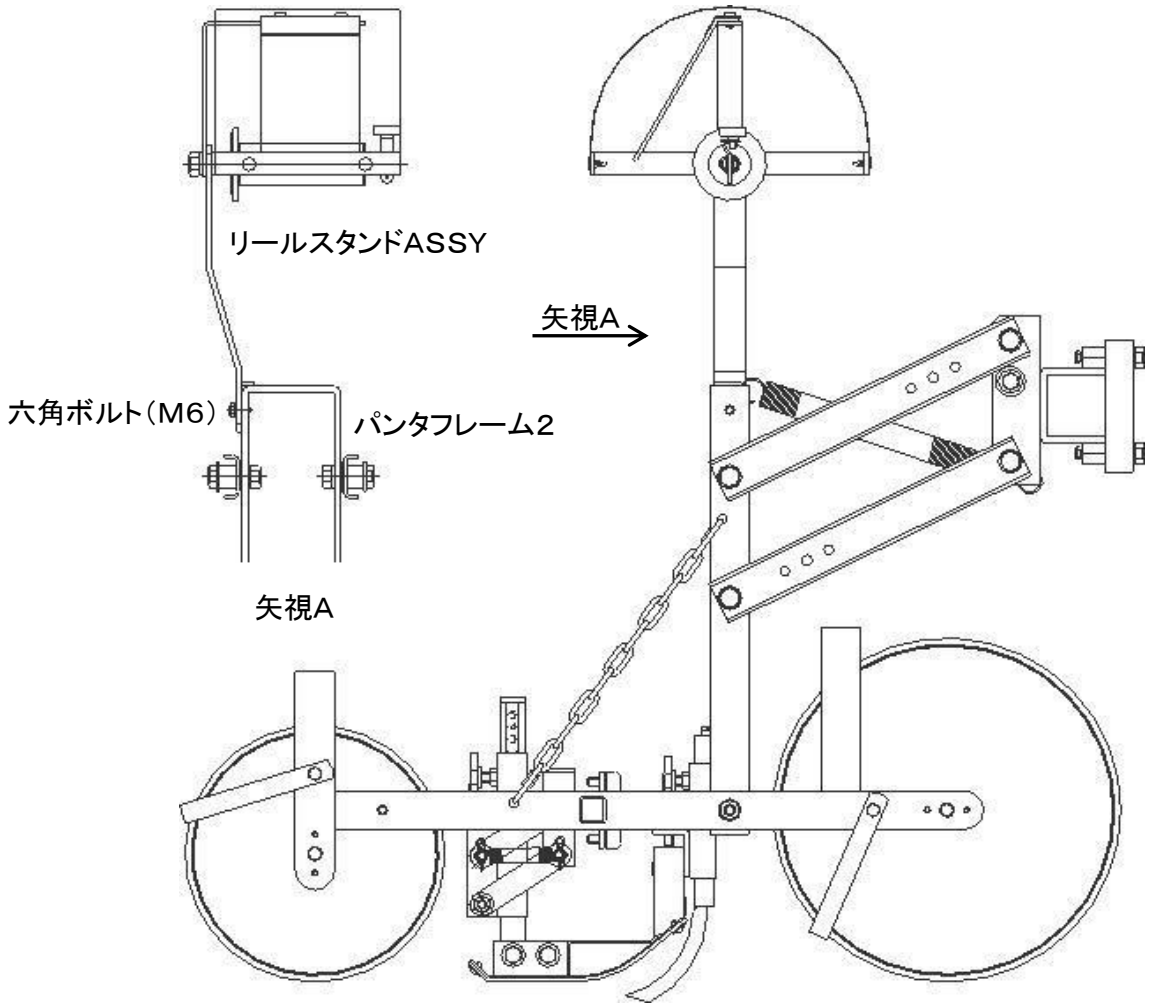


取付方法

『安全に関するご注意』の『取付時のご注意』をご参照ください。

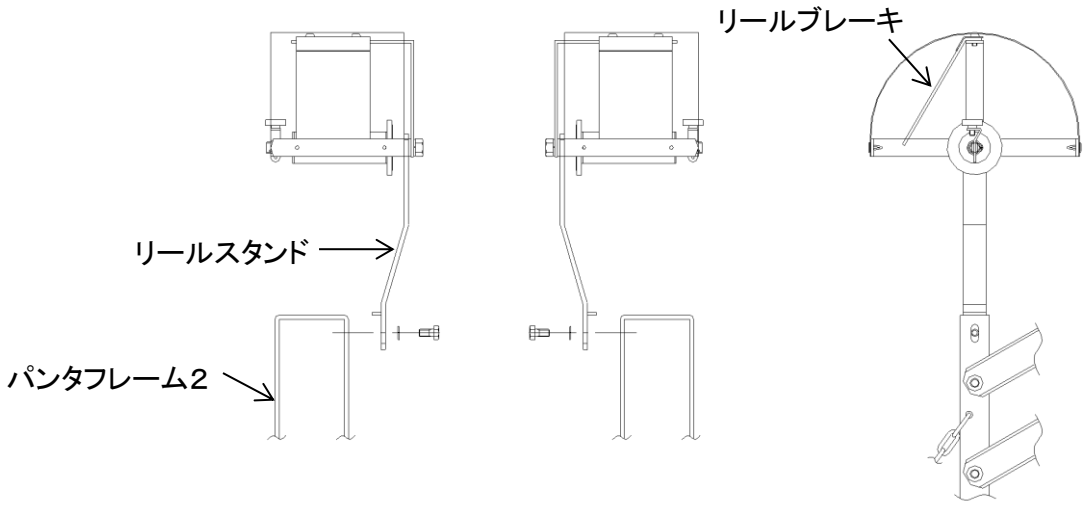
■ リールスタンドASSYの取付

リールスタンドASSYを本体付属の六角ボルト（M6）で図示位置に固定してください。



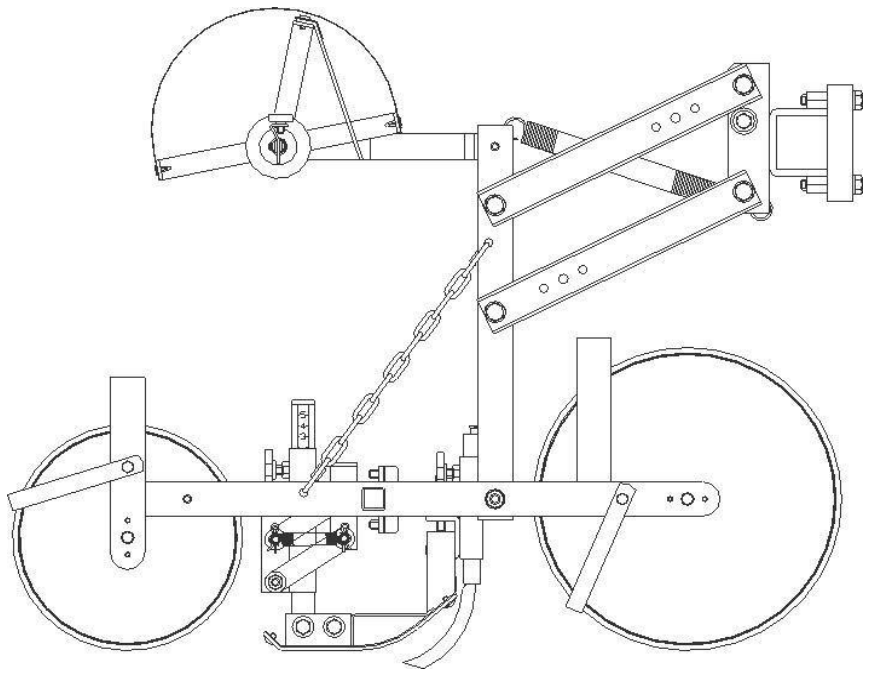
本播種機を2台でご使用になる場合

パンタフレーム2の左右どちら側にも取り付けが可能です。
シーダーテープの取り付け・取り外しが行えるよう、隣り合う播種機のリールスタンドが互い違いになるように取り付けてください。
【注意】　・リールブレーキが進行方向の後方になるように取り付けます。
・リールブレーキが進行方向の前方になる場合は、**「リールブレーキの調整」**（P6）の①～③の手順に従って、取り付け向きを調整してください。



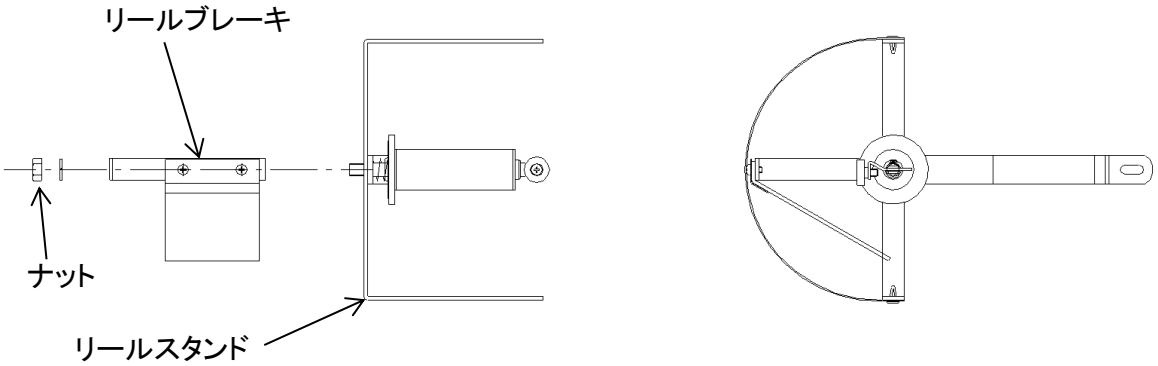
本播種機を3台以上でご使用になる場合

下図の向きにも取り付けが可能です。
シーダーテープの取り付け・取り外しが行えるよう、3台の内の1台は、下図の向きにリールスタンドを取り付けてください。
【注意】　・リールブレーキの取り付け向きの調整が必要になります。
「リールブレーキの調整」（P6）の手順に従って、取り付け向きを調整してください。

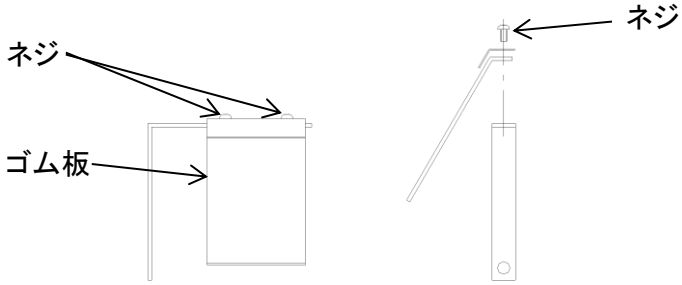


■ リールブレーキの調整

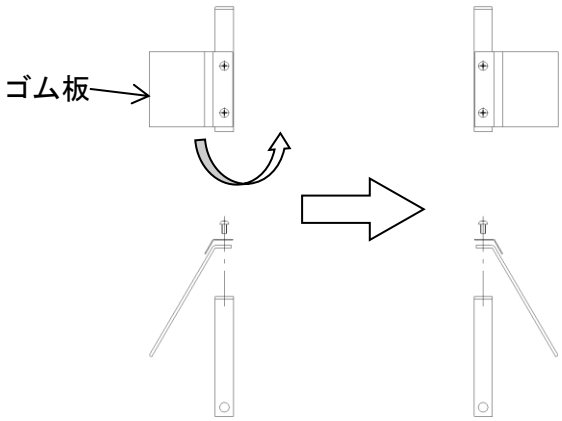
① リールスタンドのナットを緩め、リールブレーキを取り外してください。



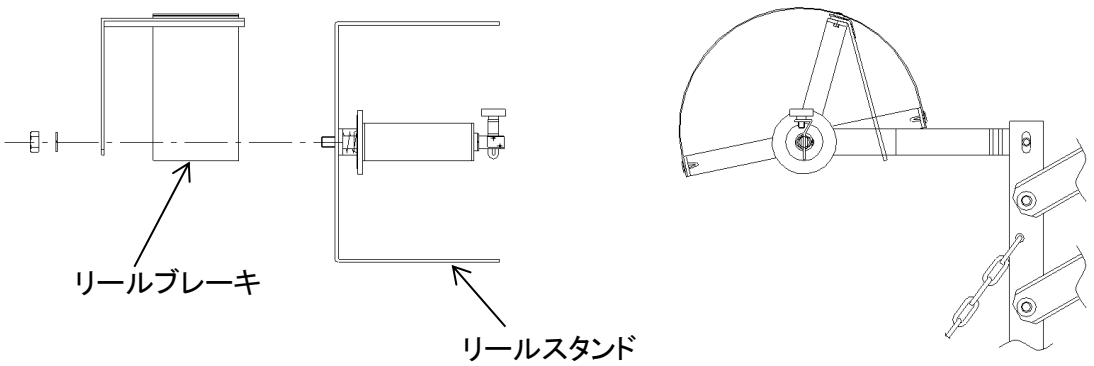
② リールブレーキのゴム板を固定しているネジを緩め、ゴム板を取り外してください。



③ ゴム板の向きを変えて、ゴム板を固定してください。

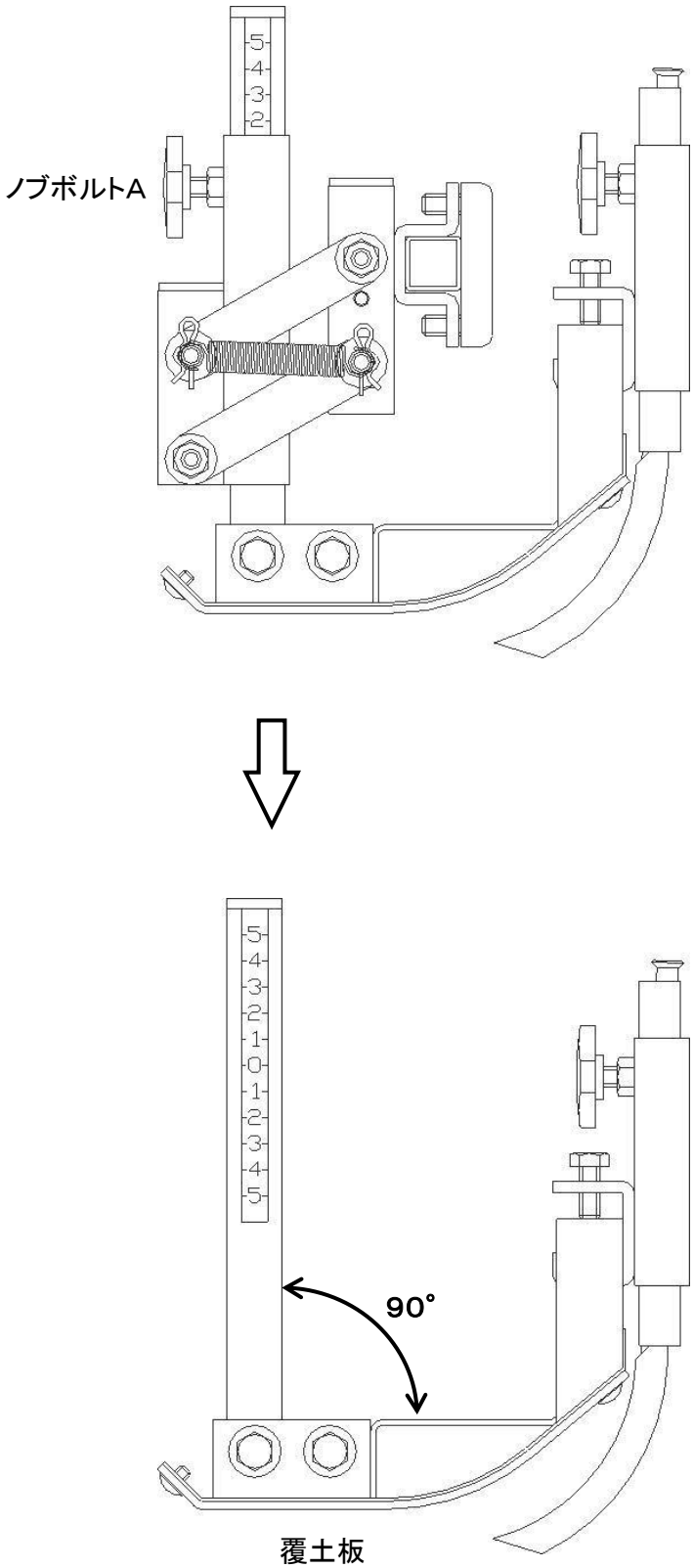


④ 下図のようにリールブレーキをセットし、リールスタンドに固定してください。



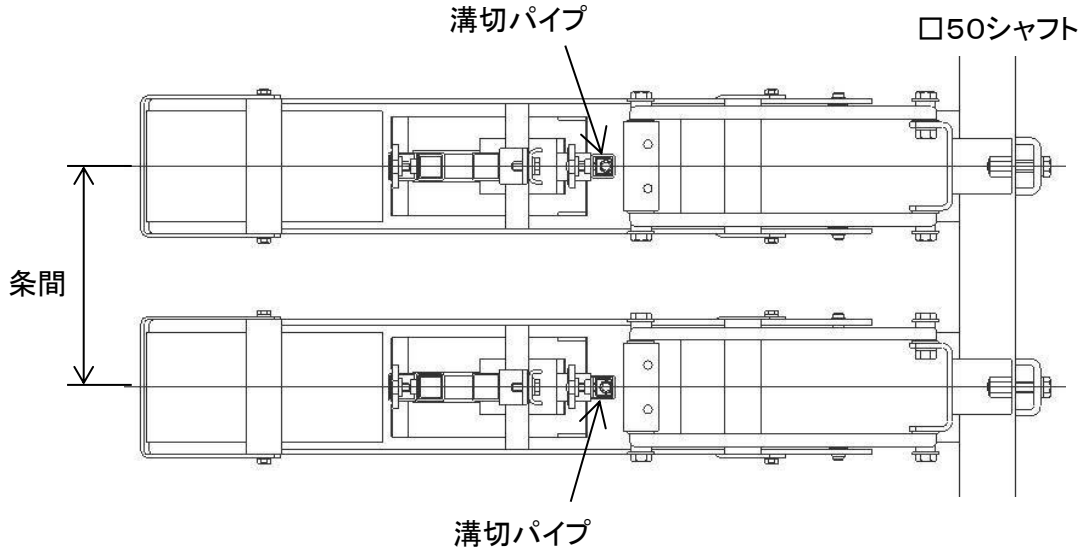
■ 覆土板取付角度の調整

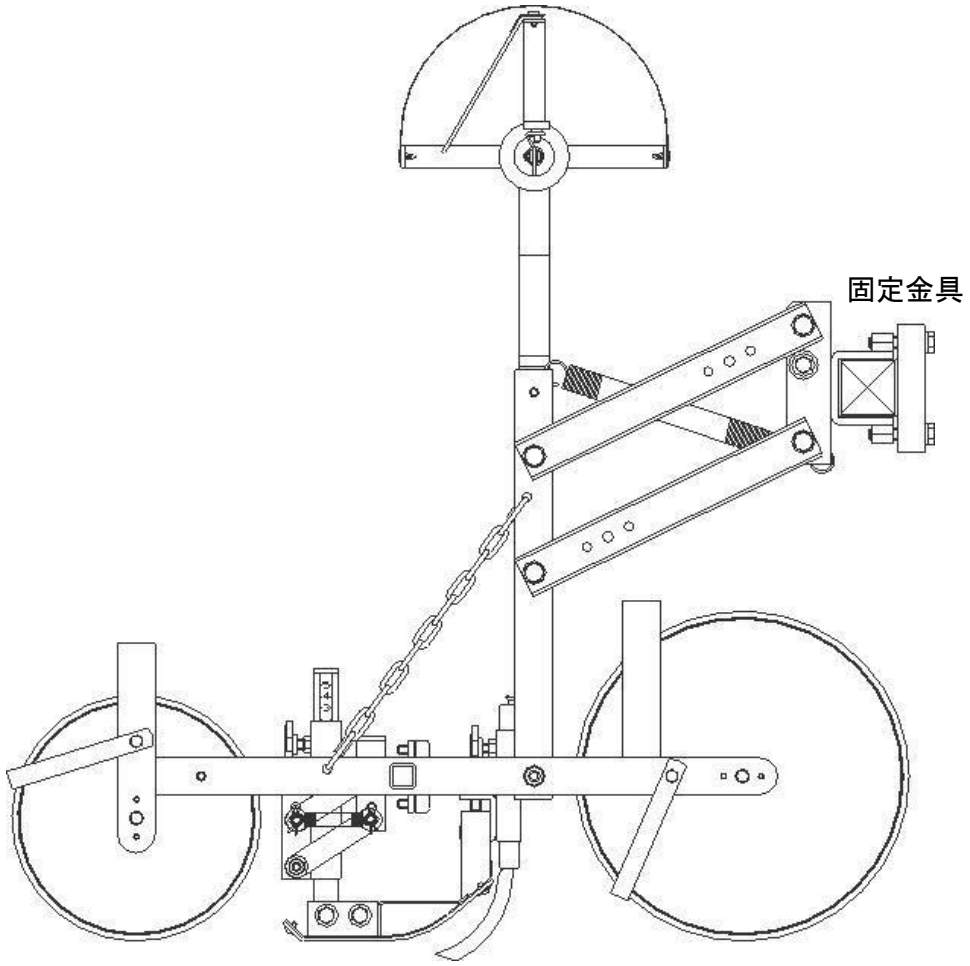
① 覆土板＆溝切ASSYのノブボルトAを緩め、覆土板を下方より取り外してください。
② 覆土板の角パイプ取付け角度を90°に調節し、固定してください。
※ 工場出荷時に予め調整して有りますが、念の為、確認をお願い致します。
③ 調整後、覆土板を元の位置に取付けてください。



■ □50シャフト（管理機、トラクター）への取付

播種機を□50シャフトへご希望の条間にセットし、固定金具で固定してください。
※ 播種機の溝切パイプの間隔が条間となります。
　最少条間は150mmです。

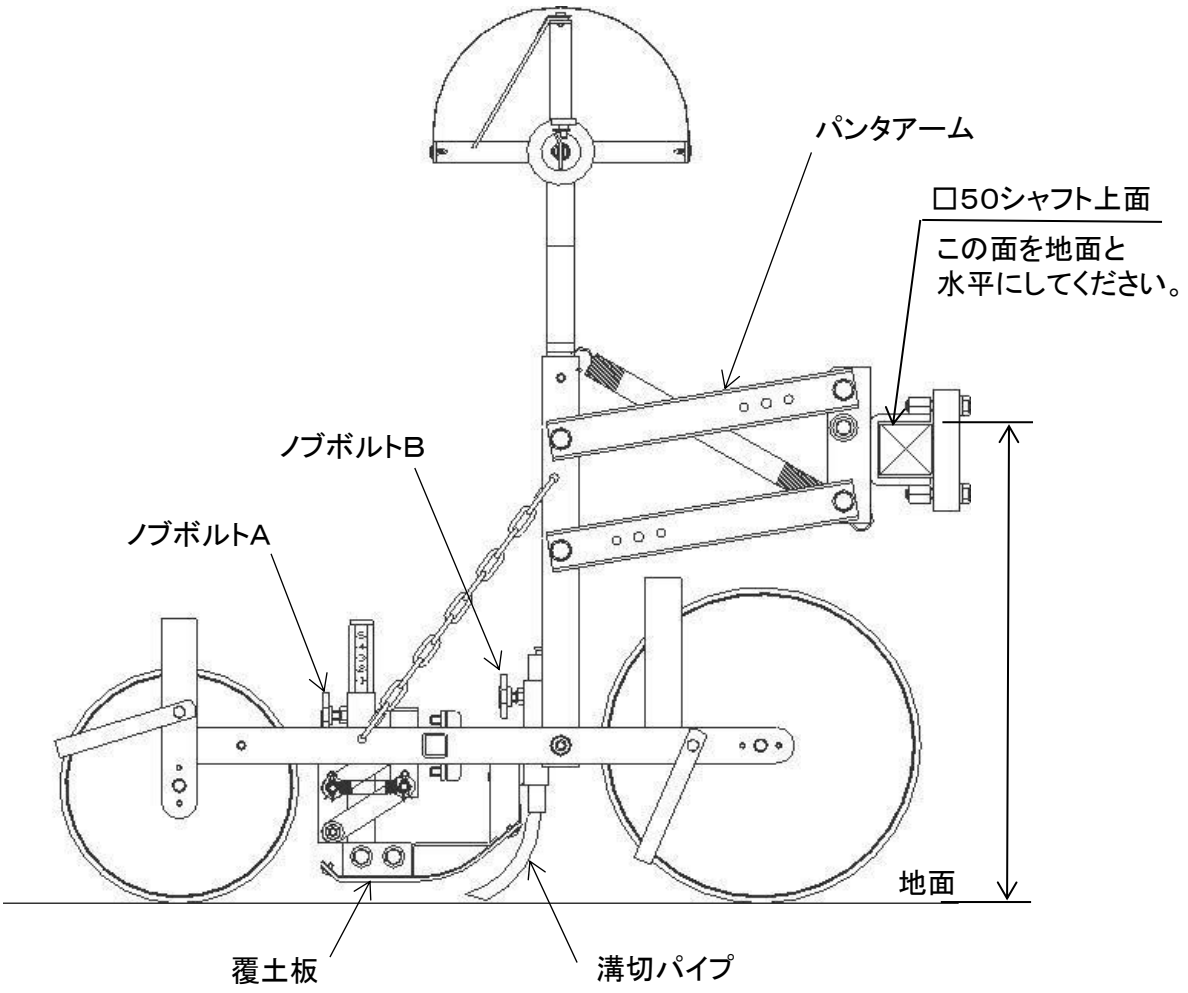




■ 取付姿勢調整

① 弊社製品のトラクターヒッチ（別売）あるいは、□50シャフトの角度調整が可能な製品を
ご使用の場合、□50シャフトが水平になるように調整します。
【注意】 ・弊社製品の管理機用テープシーダー取付フレーム（別売）をご使用の場合は、
高さ調整のみとなります。

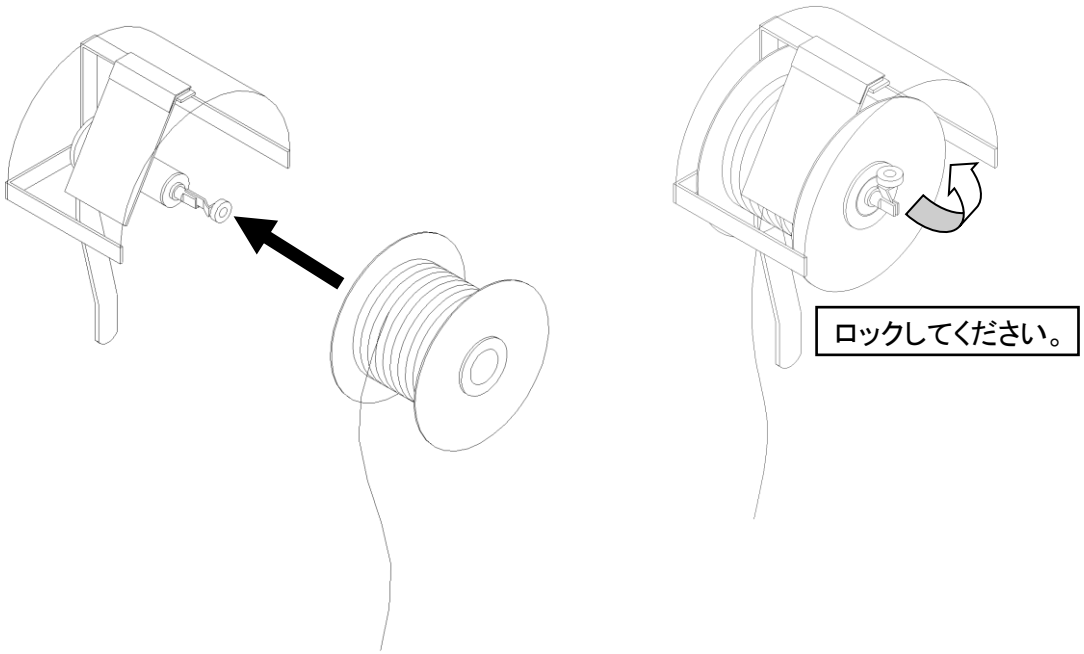
② パンタアームが水平よりも、やや上がった位置になるように、□50シャフトの高さを
調整してください。
また、圃場では、土の沈み込み等によって姿勢が変わることがありますので、□50シャフトの
水平、高さを再度確認・調整してください。
【注意】 ・地面が固い場所で調整を行う場合は、覆土板＆溝切ASSYのノブボルトA及びBを
緩めて、覆土板及び溝切パイプを上方に移動して地面に当たらないようにして
ください。溝切パイプが破損する恐れがあります。



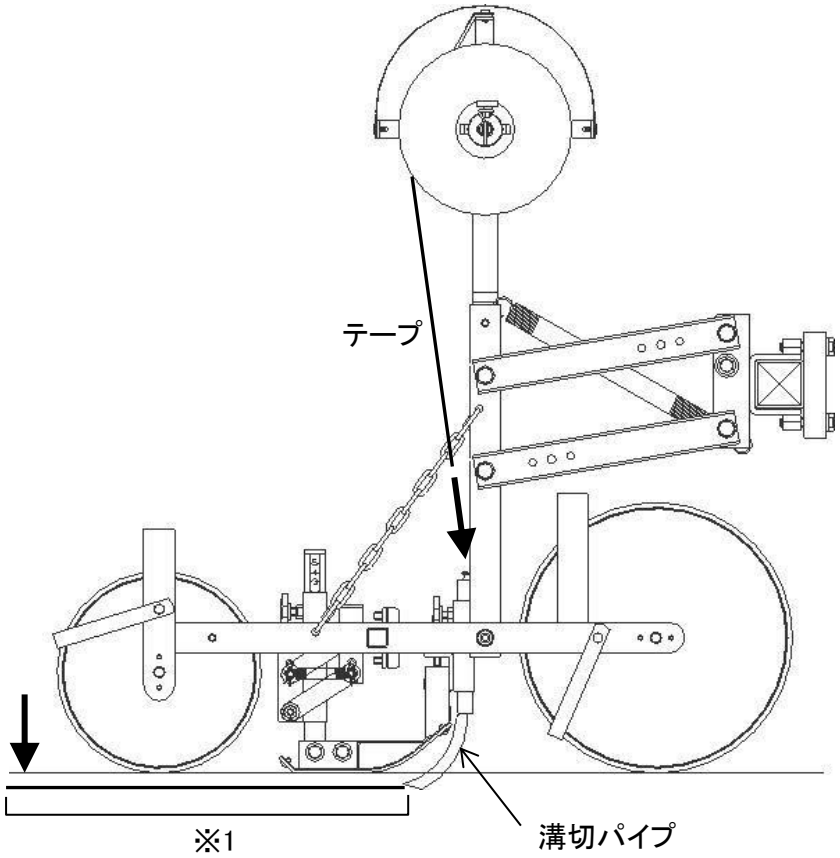
ご使用方法

『安全に関するご注意』の『使用前のご注意』・『使用時のご注意』をご参照ください。

①リールホルダーにリールをセットします。
【注意】 必ずリールをロックしてください。

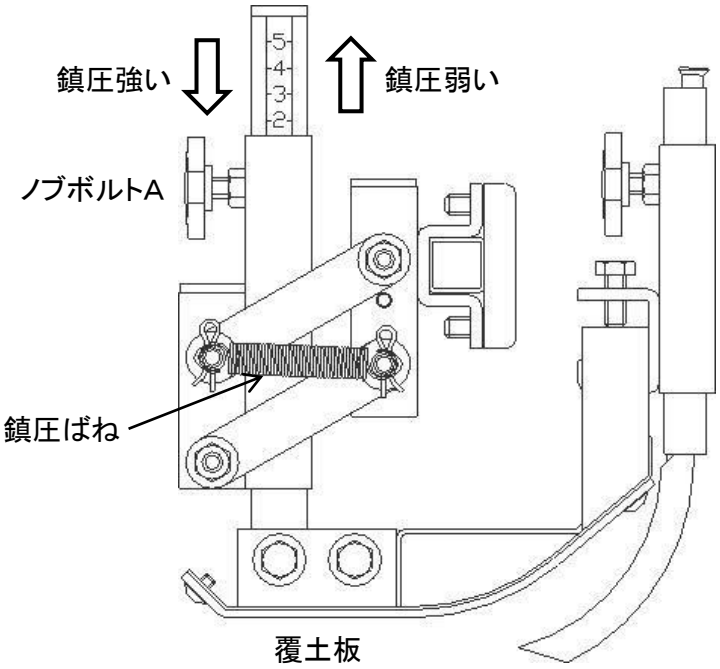


②テープを溝切パイプに付属の通し棒に結わえて溝切パイプに通します。
播種スタート時にテープ端末を足で踏むなどして固定する必要がありますので、溝切パイプから充分にテープを引き出してください。（※1）



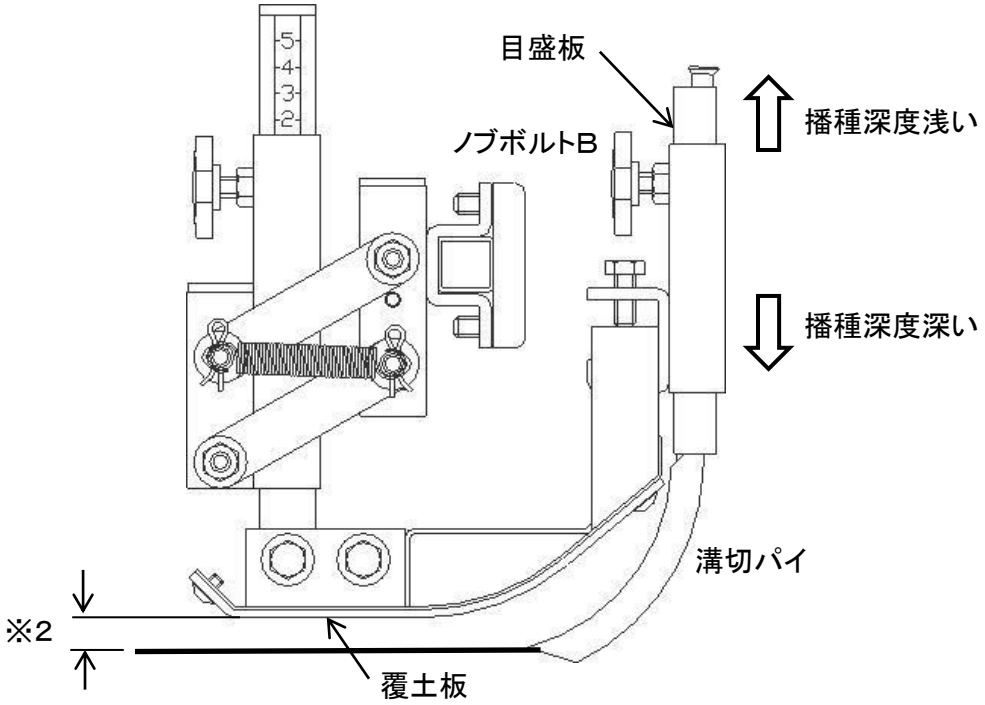
③ 鎮圧調整

・ ノブボルトAを緩め、覆土板を上下して鎮圧を調整してください。
・ 調整後は、ノブボルトAを締めて、覆土板を固定してください。
【注意】 角パイプの目盛板は条ごとの鎮圧を揃える目安としてご使用ください。
・ 上記方法で鎮圧が過多の場合は、鎮圧ばねを外してください。



④ 播種深度調整

・ 覆土板の最下部から溝切パイプ先端の深さ(※2)が播種深度となります。
・ ノブボルトBを緩め、溝切パイプを上下して播種深度を調整してください。
【注意】 溝切パイプの目盛板は実際の播種深度とは異なります。
溝切パイプの目盛板は条ごとの播種深度を揃える目安としてご使用ください。

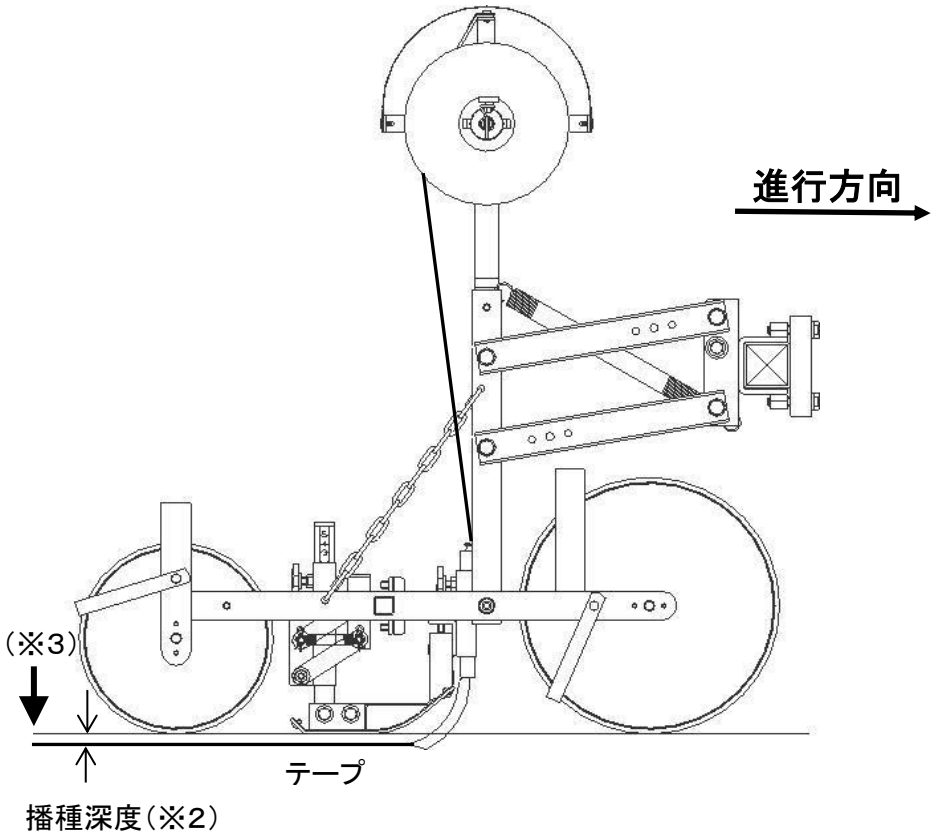


⑤播種

播種スタート時はテープ端末を足で踏むなど、矢印方向（※3）に押さえながらスタートしてください。

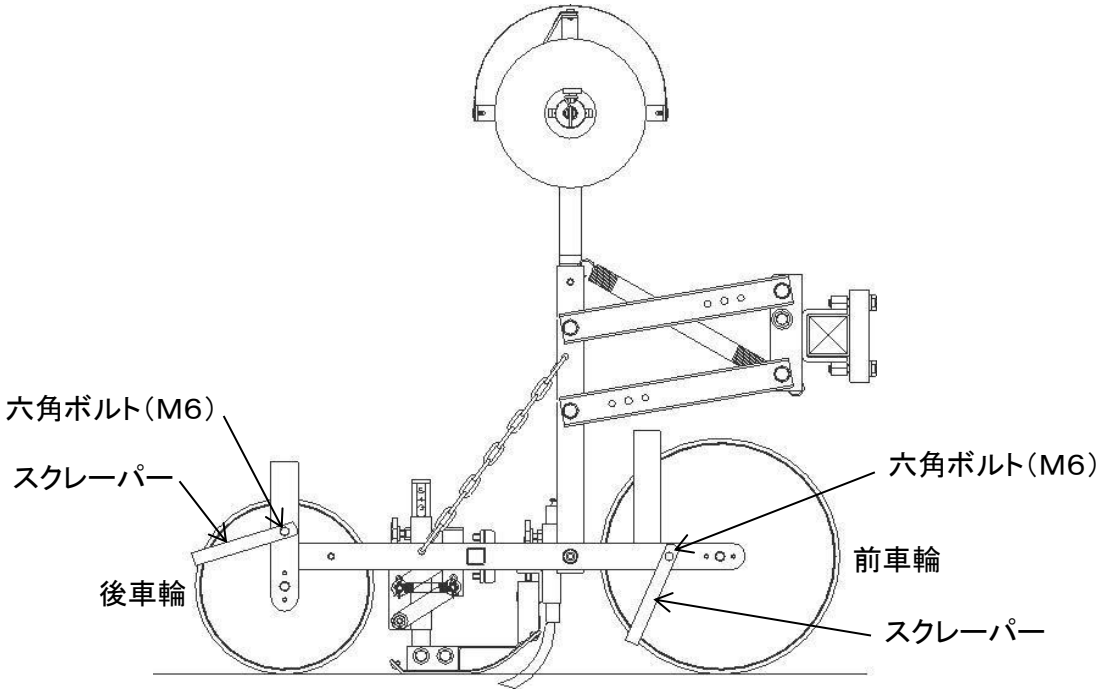
播種スタート後、必ず播種深度を確認してください。（※2）

【注意】　溝切パイプの目盛板は実際の播種深度とは異なります。



⑥スクレーパーの調整

出荷時は車輪とスクレーパーは適度な間隔に調整してありますが、車輪への土の付着が多いような場合は、六角ボルト（M6）を緩め、車輪とスクレーパーの間隔を狭くしてください。



保守点検

『安全に関するご注意』の『保守点検のご注意』をご参照ください。

- ■ 各部品のガタやボルトの緩み
- ■ 各摺動部（前後車輪・パンタアーム・覆土板ASSY・リールホルダー）の動作確認
- ■ 覆土板（ポリエチレン板）・溝切パイプ（テフロンチューブ）の欠損
- ■ スクレーパと車輪間の土などの詰まり
- ■ 前後車輪のスポンジの剥がれ・欠損
- ■ 溝切りパイプ内の詰まり
- ■ 溝切りパイプの摩耗

以上の点を播種前および保管前に点検してください。

- ■ 長期間放置したりすると錆が発生することがあります。多少の錆は使用上差し支えありませんが、発生させないように取り扱ってください。

故障かな？と思ったときは

修理を依頼される前に次の点検をしてください。

症 状	考えられる原因	処 置
・シーダーテープが出ない	・溝切パイプの詰まり	・付属の通し棒でパイプ内の異物を取り除いてください。
	・溝切パイプにテープを通していない	・使用方法の手順に従い、テープを溝切パイプに通してください。
	・溝切パイプ内のベタツキ	・シーターテープの性質上、湿度・気温によりテープが溶ける場合があります。このような状態では播種出来ない場合があります。**雨天・霧・炎天下時のテープの放置など播種前のテープ管理に注意してください。**
・播種深度が浅い（テープの露出が目立つ）	・溝切パイプ位置が高い	・使用方法の手順に従い、溝切パイプの位置を調整してください。
・播種深度が深い	・溝切パイプ位置が低い	
・播種深度がばらつく	・覆土板平行リンクの動作不良	・最寄の販売店にご相談ください。
	・パンタアームの動作不良	・最寄の販売店にご相談ください。
	・ポリエチレン板･テフロンチューブの欠損	・新しい部品と交換してください。

処置した後になお異常がある場合は、お買い求めになった販売店または最寄りの販売店にご相談ください。

アフターサービス

■ 修理をご依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、再度ご点検の上、なお異常がある場合は、お買い求めになった販売店または最寄の営業所にご相談ください。

■ この取扱説明書に記載以外の修理・分解・改造に起因して生じた異常に関しましては修理をお引き受けできない場合がありますことを予めご了承ください。

仕様

型式	TTA－8ST （コードNo. 3281620）
適用	管理機・トラクター
条数	1条
溝切	ソリ用
車輪巾	100mm
最小条間	150mm
重量	15kg
薬剤散布機装着	装着不可

この取扱説明書の内容を、お断り無しに変更することがありますので予めご了承ください。

日本プラントシーダー株式会社

本社 … TEL 03-5623-1183 FAX 03-5623-1187
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町４－９－２

川越工場 … TEL 049-232-6221 FAX 049-233-0721
〒350-0815 埼玉県川越市鯨井1684

北見営業所 … TEL 0157-36-6206 FAX 0157-36-7622
〒090-0056 北海道北見市卸町３－６－４

札幌営業所 … TEL 011-895-3248 FAX 011-895-3249
〒004-0022 北海道札幌市厚別区厚別南１－３－８

仙台営業所 … TEL 022-288-2331 FAX 022-288-2333
〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東５－４－４

関東営業所 … TEL 03-5623-1183 FAX 03-5623-1187
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町４－９－２

大阪営業所 … TEL 072-480-0128 FAX 072-484-3950
〒590-0521 大阪府泉南市樽井２－３－９

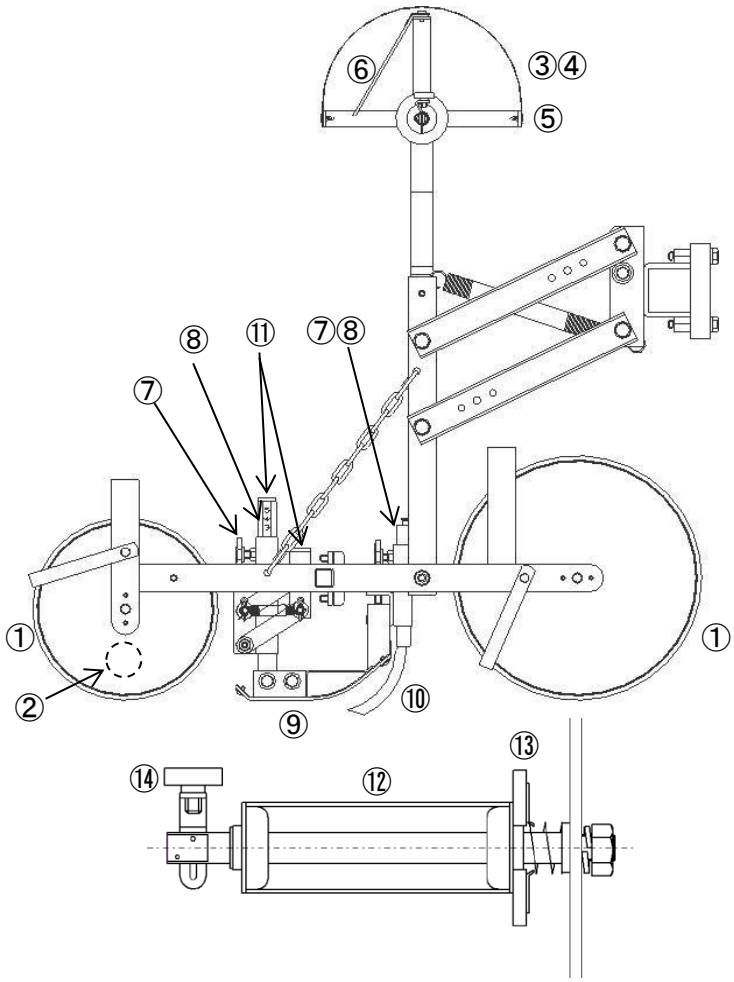
九州営業所 … TEL 096-247-0120 FAX 096-247-0122
〒861-1113 熊本県合志市栄3415－25

ホームページ … http://www.plantseeder.co.jp

（2014年6月 発行）

TTA－8ST 部品材料一覧

当社は地球環境負荷低減の活動を推進しております。お客様が本製品の整備等で取り外した部品を廃棄される場合は、下記部品材料一覧表をご参考になり、分別廃棄のご協力をお願いいたします。



	部品名称	材料
①	車輪スポンジ	ゴム
②	車輪側板キャップ	プラスチック
③	リールカバー	プラスチック
④	リールカバーラベル	プラスチック
⑤	クリップ	プラスチック
⑥	ゴム板	ゴム
⑦	ノブボルト	ノブ：プラスチック，ネジ：鋼
⑧	目盛シール	アルミ
⑨	PE板	プラスチック
⑩	テフロンチューブ	プラスチック
⑪	角柱栓	プラスチック
⑫	リールホルダーパイプ	アルミ
⑬	グリーンフェルト	フェルト
⑭	リールホルダーベアリング	ローラ：プラスチック，ベアリング及びネジ：鋼
	その他	鋼

（2014年6月　発行）